

令和4年度第2回大野市青少年問題協議会

日時：令和5年3月22日(水)9:30～

場所：学びの里「めいりん」1階コンピュータ室

1 開会のあいさつ

2 協議会

(1)令和4年度各関係機関・団体の活動報告について

(2)大野市青少年育成方針・令和5年度共通目標(案)について

(3)大野市青少年問題協議会の今後の運営方針について

3 研修会

講師：一般社団法人みんなの居場所 with ふくい 代表 須磨航 氏

演題：ヤングケアラーなど子ども若者の現状と法人の活動

4 閉会

大野市民憲章

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と雪国特有のねばり強さとして、今日の繁栄を築いてきました。

わたくし 私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目指して、市民憲章を定めます。

ひとつ

1. みずみずしさあふれるまちに

わたくし

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくりま

ひとつ

2. 小さな芽が伸びるまちに

わたくし

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てま

ひとつ

3. 大きくはばたくまちに

わたくし

私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめま

ひとつ

4. あたたかい心のかようまちに

わたくし

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げま

ひとつ

5. 明るくやすらぎのあるまちに

わたくし

私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きま

(昭和53年10月告示)

大野市教育理念

明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

わたくし 私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

平成21年3月 大野市教育委員会

明倫（めいりん）とは

大野藩第7代藩主土井利忠（1811～1868年）は、藩の政治や経済の建て直しには、新しい知識を学んだ人材が必要であるという考えに基づき、弘化元年（1844年）に藩校「明倫館」を開設しました。

明倫館の「明倫」という言葉は、「皆人倫を明らかにする所以なり」に由来し、人の生きる道を明らかにすること、すなわち、人として守り、行ふべき道を明らかにすることを指しています。

明倫館は、当時としては珍しく、武士の子弟に限らず、広く一般家庭の子どもたちに